

# 第16回(仮称)釜ヶ崎夜間学校

## 今夜ク時より『希望の家』一階にてー

### テーマ『趣味について語り合う』

いつも面白い話ばかりしていてもしんどいので、リラックスしてホクホクいこうというわけで、今回はリクレーシヨンを何かやろうと決めていましたが、いやあ具体的に何をやろうか、ということになると皆、ハタと考え込んでしまいました。

そこで、少し予定を変更して、「趣味」について話し合うことにしました。キャンパスには趣味が奥深がよくわからないところがありますが、魚つりは結

#### 『仮称』釜ヶ崎夜間学校とは

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活している中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある、仕事や病気の困窮等を皆で解決していく為

構好きな人が多いようだし、仕事を休んだ時は天王寺公園にある図書館で時

間をつぶしている仲間も多いようです。ともかく、釜にはいろんな人がいるのだから、趣味も様々にあります。

夜間学校の話し合いの中で、「やっぱり皆助け合いの団結していかんとあかん」と言うことがよく言われますが、あまりに人数が多い反面、互いに相手を知らず、村会は極めて少ないのが現実です。その意味からも、今回はお茶でも飲み

に、先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通してま

え、学び合う自由な場です。是非多くの仲間が参加して下さい。運営にも積極的に参加して下さい。

ながら「趣味」について語り合い、互いの親ホクを深めたいと思います。多くの仲間の参加を待っています。

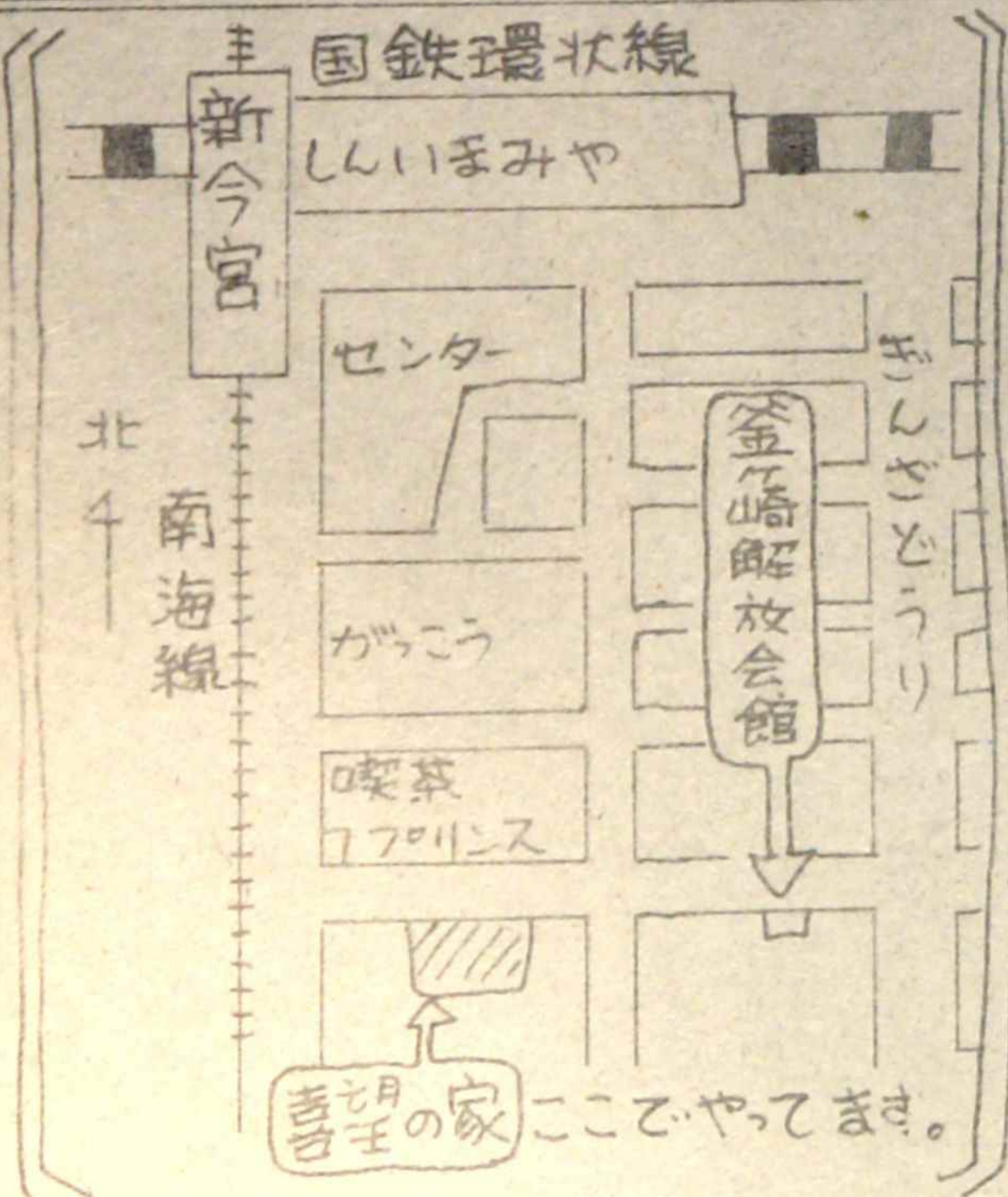
### 夜間学校

#### 「これからの予定」

- 11月22日 「越冬と病気」その2
- 11月29日 未定

※夜間学校についての意見を聞かせて下さい。特に、こんなことについて話したいと言う希望のテーマがあれば、是非聞かせて下さい。

夜間学校は仲間の希望と意見によって運営されます。



# (仮称)釜ヶ崎夜間学校 ニューズ

## 第15回報告テーマ「人夫出し」(その4) 1-8

### センターの果たしている役割は何が

今年二回目の一月八日の夜間学校は「人夫出し」シリーズの四回目で、三六年の大暴動の後、三七年に、手配師の排除<sup>はいじ</sup>ピンハネの排除を大きな目的の一つに出来た福祉センターが、現在本当に初期の目的を果たしているかどうかを中心に話し合いました。

以下はそのまとめです。

#### センターがでさる前

手配師のピンハネはきつかった(山田組などが、親父の直接求人や、業者固の結びつきが弱かったので単価の良い仕事も多かった。

#### 三六年の暴動の後センターが出来た

大きな目的の一つとして手配師の排除<sup>はいじ</sup>ピンハネの排除があった。その為に、取組紹介が考えられていた。三七年九月には労竹大臣より無料の取組紹介が許可されている。

#### 今はどうか

基本的に仕事の紹介はしていない。相対方式<sup>あいたい</sup>による就労あ、せん。飯場の紹介、常用の紹介は一部行なわれている。

#### なぜ紹介できないか

大前提としてあるのは、まずあいりん取組がなぜ仕事の紹介をしないのかということであるが、我々にとって、こちらが良いかということからみると、輪番制の紹介になると自分にあった仕事を選べない。

人が多すぎるので一人一人選んでいければ時間がかかる。

一なま、つけ足せば、大きな要因としてあるのはアフレを労竹者の責任(仲く意志がないという)にできないこと、山谷のセンターは紹介の形をと、しているということがあります。

飯場の紹介について見ると、一階の寄せ場の求人より平均で五〇〇円位上がるということが実証されている。

#### 強く感じたこと

今の総合センターができて、求人者が中に入るようになって、業者の団結は進んでいるが、労竹者の団結はいぜんとして進んでいない。これがいつもやられている最大の理由だ。

#### 今後の問題として

一人の仲間から、センターが最低賃金を決めることが出さなにかという意見がありました。センターは財団法人でもあるし、答えはわかっているようなものですが、最低賃金はとうあるべきか、皆で話せれば良いと思います。

みんながつくるみんなのひろば

「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」

運営委員会準備会

釜ヶ崎・喜望野の家内

電話 二六四七一三九四六  
毎週木曜夜七時から九時の間